



平成23年10月10日発行(毎月1回10日発行)

函館商工会議所報

と も え

2011
10
No.344



CONTENTS

巻頭特集

震災後の 地域経済状況

- ◆ 会員企業ご紹介 P10
- ◆ ご案内 P15



函館商工会議所ホームページ
<http://www.hakodate.cci.or.jp/>

HAKODATE
男爵俱樂部
 HOTEL & RESORTS



【北海道じゃらん】2009年お客様宿泊満足度第2位獲得

【楽天トラベル】2008年度お客様の声部門北海道第1位獲得

【法人様限定】特別ご宿泊プラン

【シングル利用】 **8,000円～**

【ツイン利用】 **7,500円～**

- 料金は1室1名あたり
- スタンダードツイン (41㎡)
- ベッドサイズ 110×200cm
- 3～9階利用
- 朝食付 (洋食または和食)
- ※和食は朝市提携店にて
- 時期により料金が変わります。



ワンちゃんも一緒に

ワンちゃんも一緒に滞在。広々ベッドルームで愛犬と素敵な時間を。(ワンちゃん宿泊料金別途)



開放感溢れるバスルーム

ゆっくりと一日の疲れを癒すバスルーム。全室、函館山を望む眺望も男爵俱樂部ならでは。



全客室にキッチン完備

全室キッチン付きのお部屋なので、ちょっとしたパーティーに最適。(詳しくは下記連絡先まで)



忙しい朝はお部屋で朝食を

朝市直送の和定食をお部屋で。海鮮丼の他、焼き魚定食もお召し上がりいただけます。(追加料金700円)



HAKODATE 男爵俱樂部 HOTEL & RESORTS

TEL 0138-21-1111

〒040-0064 函館市大手町 22-10

E-mail info@danshaku-club.com

Web <http://www.danshaku-club.com>

□JR 函館駅より徒歩 3分 □函館空港よりタクシー 20分

※内覧もお待ち申し上げます。[木村]





平成23年10月10日発行 (毎月1回10日発行)

函館商工会議所報

と も え

10月号
(通巻344号)

■今月の表紙

「函館松風町電気館前通り」

写真は、大正時代に函館駅を背にして、松風町交差点附近を撮影した一葉です。

通りの名前となっている電気館とは、現在の映画館にあたり、左手前から2件目の建物になります。当時、函館では映画が大人気だったようで、市民1人が年間に10回は映画を見ていたという資料も残っています。

(函館市中央図書館所蔵)



CONTENTS

2 特集 震災後の地域経済状況

4 会議所の動き

- 全部会幹事会において会員増強運動の協力依頼
- 2011合同企業説明会
- 新幹線開業プロモーション
- 第69回全道珠算競技大会
- 広域連携委員会
- 青函圏委員会
- 第6回北海道新幹線地域活性化フォーラム
- 女性会
- 青年部
- 銭亀沢地区女性部・青年部
- 今後のうごき

8 中小企業相談所だより

- 各種セミナー
- 個別専門相談日程

10 会員企業ご案内

- (株)オアシスフーズ北海道

11 新入会員ご紹介

12 経営者の悩み

13 新幹線情報

14 イベント情報

- はこだてクリスマスファンタジー

15 ご案内

- 第53回優良商工従業員表彰式
- 会員増強キャンペーン
- 新サービス!!定期健康診断割引制度

16 連載コラム

- 失敗から学ぶ企業再生
- 職員コラム

広告掲載企業

(株)男爵倶楽部	表紙裏
(株)中合棒二森屋店	裏表紙裏
北海道地域ジョブ・カードサポートセンター	裏表紙
(業)英知国際特許事務所	段下
ホンダカーズ北海道(株)	段下
中小企業基盤整備機構	段下
(株)不二屋本店	段下
龍文堂印刷(株)	段下
(有)MEGAFISH	折込
キャリアバンク(株)	折込
アクサ生命保険(株)函館営業所	折込
定期健康診断割引制度ご案内	折込
電子債権スタートアップセミナーご案内	折込
タックスフェアご案内	折込

震災後の地域経済状況

本号では、東日本大震災の発生から半年が経ち、徐々に回復傾向が見られる地域経済の現状を、航路や鉄道の輸送実績、主要観光施設の観光客入り込み数など、主に当市の基幹産業であり、地域経済に大きな影響を及ぼす観光業に焦点をあて掲載いたします。

去る3月11日に発生した東日本大震災は、日本の観測史上最大のマグニチュード9.0を記録し、東北地方を中心として日本列島に未曾有の被害をもたらす大惨事となりました。当市においても、朝市やベイエリア地区にかけては津波による直接被害を受け、また、物流の停滞や消費の鈍化に風評被害や自粛ムードが相まって、多くの事業所が震災による間接被害を受けました。このため、地域経済の冷え込

みは一段と深刻なものとなり、一刻も早い経済活動の平常化が求められているところです。

そのため本所では、震災翌日から速やかに今後の対応を緊急決議し、被災企業のサポートを開始いたしました。津波により被害を受けた朝市やベイエリア地区を中心に被災状況の聞き取り調査を行い、被災を受けた151社の会員事業所に災害見舞金を配布いたしました。また、融資相談や罹災証明の発行な

函館空港



函館空港は、当市の空の玄関口として年間約150万人が利用し、函館と各都市を結ぶ重要な拠点基地であり、地域経済にも大きな役割を果たしておりますが、震災の発生により利用者の大幅な減少がみられました。

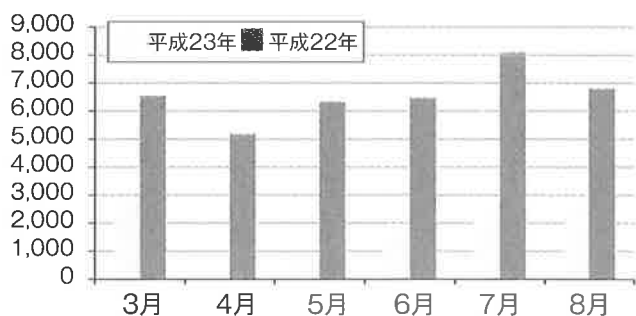
国内線の輸送実績としては、震災の発生した3月では前年比の7割台と大幅に落ち込みましたが、その後の4～7月では減少幅が徐々に縮まり、8月には前年比をようやく上回り、今後は更なる増加が期待されています。

国内線が回復する一方、国際観光都市として期待のかかる国際線では、震災後、台湾等からのチャーター便が、一時は運休するなど大幅に便数が減少し、さらに定期便のソウル線にいたっては12月末まで休止となるなど、現在も前年比の半分にも満たない利用率となっています。このため去る10月10日に、工藤市長や松本会頭をはじめとした訪問団が大韓航空を訪れ、ソウル線の早期再開を強く要請しました。

国際線

(単位：人)

	平成23年	平成22年	前年比
3月	2,730	6,544	41.7%
4月	0	5,178	0.0%
5月	730	6,335	11.5%
6月	1,977	6,465	30.6%
7月	2,429	8,100	30.0%
8月	2,666	6,800	39.2%

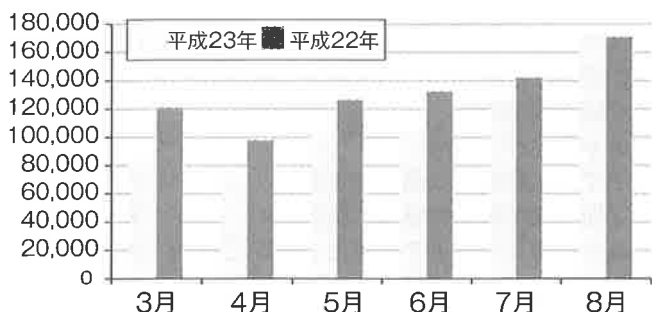


(資料提供：函館空港ビルディング(株))

国内線

(単位：人)

	平成23年	平成22年	前年比
3月	85,991	120,904	71.1%
4月	74,756	97,867	76.4%
5月	104,547	126,317	82.8%
6月	105,951	132,394	80.0%
7月	128,529	142,138	90.4%
8月	173,574	170,874	101.6%



海峡線

JR北海道が運行している海峡線は、北海道と本州を結び、青函圏において様々な取り組みを行っている当市や、東北で事業を展開されている企業にとっても非常に重要な路線であります。今年は東北新幹線が全線開業したこともあり、東北地方はもちろん、北関東からの乗客の利用も見込まれていましたが、震災の影響で輸送実績は大幅な減少となりました。震災直後の3・4月は前年比の4割台まで落ち込み、5・6月に入っても5割台に戻るに留まりましたが、7・8月ではようやく前年比が9割台と、輸送実績は次第に回復しています。今後は、東北新幹線が通常ダイヤでの運転を再開したこともあり、当市においても新幹線効果を期待しているところです。

(単位：人)

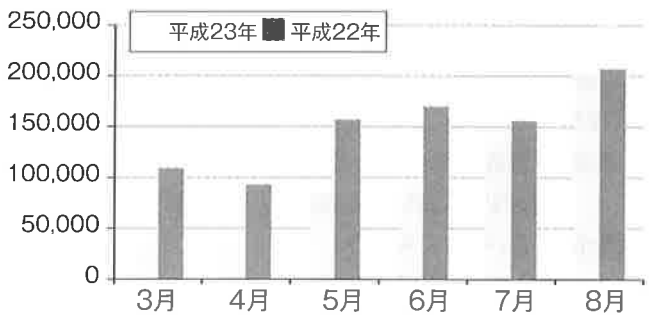
	平成23年	平成22年	前年比
3月	47,000	109,000	43.1%
4月	43,000	93,000	46.2%
5月	85,000	157,000	54.1%
6月	95,000	170,000	55.9%
7月	140,000	156,000	89.7%
8月	203,000	207,000	98.1%

ど、災害復旧に関する相談が1ヶ所でも対応できるよう特別相談窓口を本所に開設し、12日間の開設期間の中で相談事業所は69社となりました。震災対応の公的融資制度では、現在までに延べ113社、約10億5,000万円の事業所に斡旋を行っています。さらに本所独自の支援措置として、震災の被害を受けた会員事業所が公的融資を借り入れた場合、借入利息の内、最高5万円を補助する「災害緊急利子補給制度」を創設し、25社が利用されています。

これらの資金調達のデータなどからも、震災の影響は甚大だったことが伺えます。特に当市の基幹産業である観光業では、風評被害による外国人観光客の激減や、宿泊予約の取り消し、主要観光施設においては観光客数が極端に減少するなど、東北新幹線新青森開業により観光客の増加が期待されていた前半の観光シーズンを直撃し、地域経済に与えた影響

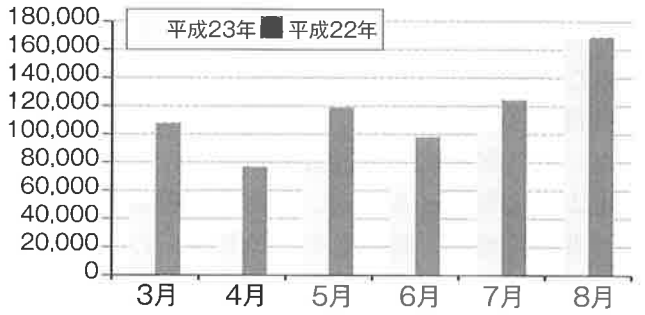
は深刻なものとなりました。

このような中、震災からようやく7ヶ月が経過し、緩やかではありますが地域経済は回復傾向に動き出しています。本所の景気動向調査によると、4～6月期における景気動向は全業種が震災時に比べて実績が上向いており、時期見通し（7～9月）も全調査項目において増加や好転など見通しは明るいと回答をいただいています。また、日本銀行函館支店の金融経済動向では、管内の景況判断を「震災に伴う下押し圧力が和らぐ中で、持ち直しの動きがみられる」と震災発生後から初めて上方修正をしています。ただし、震災が地域経済に与えた影響が甚大だったことから、現在は回復傾向にあるものの、震災前の水準までには未だに回復しておらず、まだまだ予断を許さない状況となっています。



(資料提供: 北海道旅客鉄道(株)函館支社)

※海峽線の輸送実績は木古内～中小国間となっており、すべての乗客が函館駅で乗降しているわけではありません。



(資料提供: 函館山ロープウェイ(株))

函館山ロープウェイ

函館山ロープウェイは、当市を代表する観光施設であり、観光客の入り込み数が輸送実績に大きく影響を与えている施設となります。そのため、震災後は観光客の激減状態が続き、輸送実績でも3・4月は前年比4割台と震災の影響が鮮明に表れ、前年比を超えて好調だった22年度の増加率を大きく落とす結果となりました。しかし、5月からは6割、8割台と徐々に回復をみせ、8月ではほぼ例年通りの入り込み水準となっています。今後は下半期の観光シーズンに向けて、国内の団体観光客や海外観光客数の回復が期待されています。



(単位: 人)

	平成23年	平成22年	前年比
3月	51,294	107,708	47.6%
4月	31,732	76,730	41.4%
5月	79,612	119,136	66.8%
6月	67,760	97,952	69.2%
7月	102,855	124,516	82.6%
8月	168,184	168,891	99.6%

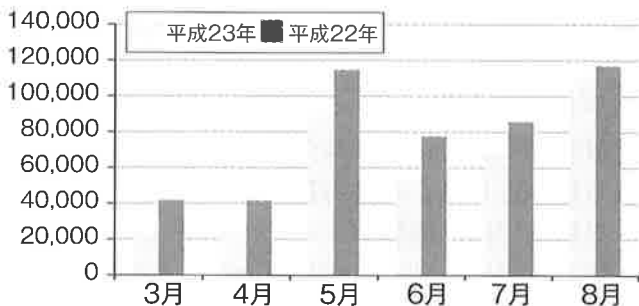
五稜郭タワー

五稜郭タワーも、当市の代表的な観光施設であり、震災後はロープウェイ同様客足は極端に落ち込み、3・4月の輸送実績は前年比の5割台と非常に厳しく、低調な実績となりました。ゴールデンウィークや花見時期のあった5月は前年比7割強と押し上げ、8月はほぼ例年並と回復をみせています。今後は、隣接する箱館奉行所や他の観光名所とあわせ、観光客の入り込みの回復に大きな期待がかかっています。



(単位: 人)

	平成23年	平成22年	前年比
3月	22,872	41,857	54.6%
4月	23,781	41,653	57.1%
5月	90,303	114,601	78.8%
6月	54,235	77,589	69.9%
7月	68,144	85,817	79.4%
8月	111,989	117,010	95.7%



(資料提供: 五稜郭タワー(株))

会議所のうごき

全部会幹事会において 会員増強運動の協力依頼

本所全部会幹事会（商業、建設・土木、工業、農水産、運輸・交通・港湾、金融・不動産・情報、観光・飲食・サービス）を順次開催し、会員増強運動の協力依頼を行いました。

現在本所の会員数は、年々減少しており、このため新年度の活動方針の一つとして、会員拡充を含めた組織・財政基盤の強化を重点目標に掲げ、各種会員増強に向けた取り組みを行っております。また、この度開催した部会では、これらの取り組みをより充実させるため、各部会の役員議員、会員幹事の皆様に、関係先やお知り合いの事業所の紹介を依頼し、今後は役員・議員・事務局が一丸となった会員増強運動に取り組んでいくこととしました。なお、各部会幹事会のそれぞれの開催日と議題は下記のとおりです。

○農水産部会

（9月22日開催 石尾担当副会長、高野部会長）

議題：北海道新幹線新函館開業に向けた
取り組みについて

○運輸・交通・港湾部会

（9月27日開催 石尾担当副会長、寺坂部会長）

議題：寺坂部会長の辞任に伴う新部会長の選任について
講話：「函館港と函館空港の現状と動向について」

函館市港湾空港部 部長 妹尾正白 氏

説明：「空港運営のあり方に関する検討会」
報告書について

○金融・不動産・情報部会

（9月29日開催 佐藤担当副会長、山本部会長）

議題：「電子債権スタートアップセミナー」の開催に
ついて

○建設・土木部会

（10月3日開催 佐藤担当副会長、芝原部会長）

講話：「建設業に係る下請適正取引推進ガイドライン
の内容について」税理士 吉田聡 氏

○観光・飲食・サービス部会

（10月5日開催 佐藤担当副会長、西村部会長）

議題 ・青函経済圏における連携および交流の促進に
ついて

・新幹線開業対策青森視察会の実施について

・北海道新幹線新函館開業までの想定スケ
ジュール説明について

○工業部会

（10月7日開催 永井担当副会長、村瀬部会長）

議題：工業振興に係る各種支援策についての意見交換

○商業部会

（10月17日開催 永井担当副会長、渡辺部会長）

講話：「函館市中心市街地活性化関連の進捗状況につ
いて」函館市経済部 参事 入江洋之 氏

2011合同企業説明会

本所・函館地方法人会・中小企業家同友会の三者共催による2011合同企業説明会を去る9月14日、ロワジュールホテル函館において開催しました。

当説明会は、来春卒業見込みの大学・短大・専門学校（専門学校）の学生や、Uターン就職希望の社会人などを対象に実施し、市内はもとより、道内各地や本州方面からも多くの参加者が会場を訪れました。

会場内では、制服やスーツに身を包んだ若者が希望企業のブースで採用担当者からの熱心な説明に聞き入るとともに、自己PRで就職への意欲を

語る光景も見られるなど、活気あふれる説明会となりました。



▲多くの地元就職希望者がつめかけた説明会

新幹線開業プロモーション

昨年12月の東北新幹線全線開業を踏まえ、冬の函館観光と2015年度の新幹線新函館開業をPRするため、北海道新幹線新函館開業対策推進機構（会長：永井副会頭）では関係団体と合同によるプロモーションを去る9月15日～18日、関東地区の百貨店で開催された北海道物産展において実施しました。

会場となった大宮高島屋、東武宇都宮の百貨店では、ミスはこだてとイカール星人が来場者へ函館特産品と観光ガイドブックを頒布し、新幹線開業によってより近くなる函館をアピールしました。

このプロモーションは10月にも関東・東北地区6か所の百貨店や産業まつり会場で実施するほか、12月に青森で開催される新青森開業1周年記念事業でもPRを展開する予定となっています。



▲函館のPRを行うミスはこだてとイカール星人

第69回全道珠算競技大会

第69回全道珠算競技大会が去る9月18日、全道各地から319名の選手が参加したほか、函館地区からも36名の選手が参加のもと、帯広市において開催されました。

毎年開催されている当大会は、各地区大会を勝ち抜いた選手が部門別に分かれ、個人競技や団体競技などでそろばんの腕を競い合いました。結果は、読上算一般の部で八木泰樹さんが、読上暗算中学校の部では齋藤淳之介君がそれぞれ優勝し、

道内11都市で争う都市対抗競技では、同点決勝の末に惜しくも2位となりました。

なお、来年の全道大会は釧路市において開催することが決定しました。



▲そろばんの腕を競う参加選手

広域連携委員会

広域連携委員会を去る9月21日、石尾副会頭、境委員長をはじめ6名が出席のもと、本所において開催しました。

当日は、近隣4商工会(亀田・東・北斗市・七飯町)との連携についてを議題とし、4年後に迫った北海道新幹線開業を見据え、各商工会との横のつながりを持つことを目的として、観光の分野や農商工連携など垣根のない経済界が中心となり、地域のために出来ることを模索していきたいと話合いました。また今後は、本所の他の部会・委員会とも連携を図り、地域経済界として協議の場を設けることとしました。



▲近隣4商工会との連携について協議する参加者

会議所のうごき

青函圏委員会

青函圏委員会を去る9月22日、佐藤副会頭、久保委員長をはじめ5名が出席のもと、本所会議室において開催しました。

当日は、北海道新幹線開業により、より一層関係が深まる青森地域との連携について、青森市、弘前市との現況報告と今後の交流計画について協議を行ったほか、青函ツインシティ提携当初の想いや過去22年間の歴史について、当時関わりを持った関係者から講話をいただく勉強会を、青森商工会議所の青函圏交流特別委員会と合同で開催することを決定しました。

青函圏委員会では、11月に青森市を訪問する予定です。



▲青森地域との連携について協議する参加者

第6回北海道新幹線 地域活性化フォーラム

新幹線開業対策特別委員会および本所新幹線関係外郭団体の共催による第6回フォーラムを去る9月29日開催し、各団体の委員・役員および沿線自治体職員など約180名が参加しました。

当日は、立教大学観光学部特任教授清水慎一氏より「観光まちづくり成功へのヒント」と題した基調講演が行われ、まちづくりの仕組みと仕掛けの必要性や新函館駅・現函館駅間の鉄道アクセスの重要性について言及し、受け入れ態勢を地元がしっかり整えるようアドバイスがありました。また、青森市経済部新幹線対策課の竹内課長からは「新幹線開業に向けた取り組みと開業後の状況につ

いて」と題した事例発表が行われ、新青森開業を契機に広域観光など一層の観光振興を目指したいとの報告がありました。



▲新幹線開業に向けたまちづくりについて語る清水教授

女性会

去る9月10日～13日の日程で、斎藤会長はじめ7名がソウルチャーター便の旅に参加しました。

韓国では、函館市文化団体協議会の一行と姉妹都市提携を結んだ高陽市を訪問し、文化交流団体との懇談会に出席、高陽市総括民生経済局金京周局長より歓迎の挨拶を頂き、懇談会の結びには内山副会長のお手前でお菓子と抹茶が振る舞われ、両市の交流を深めました。また、去る9月28日に開催した9月例会では、日本銀行函館支店山田正弘支店長をお迎えし、最近の金融経済情勢をテーマに講演を頂きました。講演では、最近の金融経済情勢は少しずつ回復の兆しが見えるが、観光事業は厳しい状況にあり、打開するには函館の魅力为全国に発信する努力が必要だと話されました。



地域の経済情勢について語る山田支店長



◀女性会メンバーと高陽市文化交流団体

議員異動のお知らせ

★職務を行う者の変更

◎3号議員（平成23年8月25日付）

函館空港ビルデング(株)

(新) 東 陽 一 氏

(旧) 木 村 孝 男 氏

青年部

下期事業の検討を行うため、各委員会を精力的に開催しました。

○コンベンション委員会

去る9月28日に第4回委員会を開催し、10月17日に3年ぶりの開催となる青森商工会議所青年部との合同例会について協議しました。

○フルマラソン検討委員会

去る9月28日に第4回委員会を開催し、函館でのフルマラソン開催の実現に向けてコース設定について検討を行い、委員会で作成した原案の4コースについて協議を行いました。

○カルチャー委員会

去る9月29日に第3回委員会を開催し、10月14日に開催されるはこだてカルチャーナイト2011の運営計画について協議しました。

銭亀沢地区女性部・青年部

秋の「交通安全意識啓発運動」を去る9月26日、国道278号線において、銭亀沢地区女性部、青年部メンバーはじめ総勢11名が参加のもと開催しました。

同運動は毎年女性部と青年部の共催事業として、多発する交通安全に対し一層の安全意識の浸透を図り、交通事故防止を訴える事を目的に行われています。

当日は、女性部員の手作りマスコット「銭亀くん」や、リーフレット、交通安全メッセージ入りポケットティッシュ等をドライバーに配付し、交通安全旗を立て安全運転を呼びかけました。



▲グッツを配布し交通安全を呼びかける女性部メンバー

今後のうごき

10月		
14	(金)	・はこだてカルチャーナイト2011 ・第16回全国朝市サミットin函館
16	(日)	平成23年度秋期情報処理技術者試験
17	(月)	・青年部青函合同例会 ・HAC友の会合同交流会（釧路市）
19	(水)	金融個別相談
20	(木)	青年部正副会長会議・役員会
23	(日)	第193回珠算能力検定試験
24	(月)	・経営実務セミナー「ドラッカーに学ぶ、これからの経営」 ・新幹線対策青森視察会（～25日）
26	(水)	・道南商工会議所連絡協議会（登別市） ・発明相談
27	(木)	議員会議員懇話会
28	(金)	・法律相談 ・内外情勢調査会函館支部懇談会函館市長講演会
29	(土)	市民フォーラム「珈琲の薫るまち はこだて」
11月		
2	(水)	議員会親睦ゴルフコンペ・懇談会
8	(火)	・保証協会個別相談 ・電子債権スタートアップセミナー
9	(水)	・経営相談 ・職場のコミュニケーション向上セミナー
13	(日)	第6回函館歴史文化観光検定（はこだて検定）
14	(月)	北海道の物産と観光展 函館デー（鹿児島市）
17	(木)	農水産部会幹事会
20	(日)	第129回簿記検定試験
		【9月30日現在】